

平成20年第4回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	2番	大塚あかね (60分)	<p>1 「男女間における暴力」に対する羽村市の取組みについて</p> <p>(1) 配偶者暴力防止及び被害者保護施策に関する基本計画の策定の進捗状況について伺う</p> <p>(2) 配偶者暴力相談支援センターとしての機能を果たす市内の適切な施設の設置状況について伺う</p> <p>(3) 男性被害者・加害者の相談体制はどうなっているのか</p> <p>(4) 「デートDV」について羽村市の取組みについて伺う</p> <p>①若年層の結婚前の男女に対し、調査は行う計画はないか</p> <p>②若年層に対しての男女間の暴力問題についての教育啓発はどのように行われているのか</p> <p>(5) 「女性に対する暴力をなくす運動」（11月12日からの2週間）の今年の取組みについて伺う</p> <p>2 再び、地上デジタル放送移行に向けての羽村市の取組みについて問う</p> <p>(1) 市民の理解醸成をどのように図るのか伺う</p> <p>①周知広報の徹底をいかに図るのか</p> <p>②きめ細やかな相談・支援体制の確立について伺う</p> <p>③市民の意識調査の必要性についての見解を伺う</p> <p>(2) 公共施設などのデジタル化計画について</p> <p>①庁内連絡会の設置状況は進んでいるのか</p> <p>②都営住宅の地上デジタル化についての現状について伺う</p> <p>(3) 東京電力、国との対応について伺う</p> <p>①小作台地区、栄町地区の現状について</p> <p>②双葉町地区の現状について</p> <p>(4) 公共施設が原因となる共聴施設対策の現状について伺う</p> <p>(5) 生活保護受給世帯以外の高齢者・障がい者への支援について伺う</p> <p>3 生涯学習センター「ゆとろぎ」ホールの安全な利用について</p> <p>(1) 昨年度のホール利用は何件か。その内、レセプションの利用件数は何件か</p> <p>(2) ホールを利用する際には来場者の安心・安全のためにレセプションを使用することを条件としてはどうか</p>	9月9日

1 地域商業の活性化をめざして

- (1) 商業振興の現状について
 - ① 商業振興策の現状は
 - ② 市内各地区の商店会の取組みとそれらへの支援策は
 - ③ 羽村駅西口周辺の商業者（商店）の現状とその支援策は
- (2) 羽村駅西口周辺の活性化にむけて
 - ① 西口駅前広場の多目的活用を図れ
 - ② 官民横断的プロジェクトを立ち上げ活性化に向けた取組みを
- (3) 観光振興による地域商業の活性化にむけて
 - ① 近隣市町との連携のもと広域的観光振興に向けた青写真の構築と羽村市の特色を生かした観光・商業活性化プロジェクト、振興計画の策定を
 - ② 駅舎内、駅前に観光・公共施設等を伴った案内板（散策ルート）設置を
 - ③ 羽村堰の桜並木の現状とその保全、植栽等の計画を
 - ④ 根がらみ前水田のチューリップ畑に、環境・教育に配慮した“風車”を

2 西口土地区画整理事業用地の有効活用と現状道路の点検整備を

- (1) 点在する事業用地別の有効利用実施計画を、地域町内会等の意見、要望をふまえて早急に立案し、実施にむけた対策を
- (2) 事業区域内、現状道路面の総合点検を実施し、不具合箇所の是正措置を

3 東京都「生活安定化総合対策事業」について

- (1) 「生活安定化総合対策事業」は、都知事が打ち出した個人都民税減税の代替施策として登場した支援プログラムと認識しているが、市はこの事業の受託の経緯や事業効果についてどのような認識を持っているのか伺う
- (2) 事業の開始時期や窓口の設置場所等について
 - ① 羽村市としての事業開始時期はいつか
 - ② 相談窓口の設置場所はどこにおくのか
 - ③ 市民に対しどのように PR を行っていくのか
 - ④ 市と都の財政負担はどのようになるのか
- (3) この事業全体の主な役割はどのようなものか。また、市町村等に設置する相談窓口ではどのような役割を担い、東京都との役割分担や実施責任はどのようになるのか
- (4) 東京都は、「生活安定化総合対策事業」の対象者を 17 万人と見込んでいるそうだが、羽村市ではどの程度の人数が想定されるのか
- (5) 一定の条件に該当すれば、学習塾の費用や高校・大学等の受験料の貸付が受けられ、合格した場合には償還免除のある事業メニューもあるように聞いている。生活保護家庭の場合にも、こうした進学のための塾や受験料貸付

3 人目	9 番	濱 中 俊 男 (55 分)	<p>等の事業を受けられるのか</p> <p>1 羽村駅西口土地区画整理事業の進展について</p> <p>(1)「換地設計（案）に対する意見要望書等整理表」について</p> <p>①集計結果をどう分析しているか</p> <p>②意見要望等の再調整とはどのようなものか</p> <p>③権利者の意見が最大限活かされるよう市は努力すべきと考える。どのような方針で再調整を行うのか</p> <p>④再調整した（新）換地設計（案）が区画整理審議会に諮問される時期はいつか、また換地設計が決定するのはいつか</p> <p>(2) 当市独自の手法、『羽村方式』について</p> <p>①権利者の意見が反映されやすい方法と考えるがいかがか</p> <p>②反面、時間がかかるともいえるがいかがか</p> <p>2 自殺防止対策について</p> <p>(1)羽村市の現状は</p> <p>①当市の過去 3 年間の男女別・年代別自殺者数は</p> <p>②市民相談等に自殺に関するものはあるか</p> <p>(2) 今後の自殺防止の取り組みについて</p> <p>①国や東京都と連携した施策はあるか</p> <p>②当市独自の施策はどうか</p> <p>③小中学生に、命の大切さや自殺防止を教育する必要があると考えるがいかがか</p>	9 月 9 日
4 人目	4 番	橋 本 弘 山 (50 分)	<p>1 幅員 4 m未満の道路（狭あい道路）の整備、対策について</p> <p>(1)狭あい道路の数と長さは</p> <p>(2)平成 19、20 年度にセットバック、または隅切りした土地を市が買い上げた件数、金額、単価は</p> <p>(3)平成 19、20 年度にセットバック、または隅切りした土地を市が借り上げた件数、金額、単価は</p> <p>(4)生け垣等設置助成金の平成 19、20 年度の執行状況は</p> <p>(5)生け垣等設置助成金申請の際に、セットバックを条件に入れているか</p> <p>(6)危険なブロック塀撤去費用も生け垣等設置助成金の対象になっているか</p> <p>(7)道路の拡幅のために、寄付も含めた土地提供協力を市民に働きかけるべきと考えるが</p> <p>(8)狭あい道路整備の今後の取り組みは</p> <p>2 裁判員制度のスタートに向けた市の対応について</p> <p>(1)現在の取組みと選任までの流れについて</p> <p>①羽村市での割り当て数は</p> <p>②現在の羽村市の該当する選挙人名簿人数は</p>	9 月 9 日

5 人目

7 番

馳 平 耕 三
(60 分)

- ③その年代別の内訳は
- ④担当する地方裁判所はどこか
- ⑤現在から選任までの流れは
- (2) 裁判員に選任された市民、または候補者になった市民への支援について
 - ①子育て中の裁判員に選任された人へ、市はどんな支援を考えているか
 - ②裁判員候補者となった高齢者へ、市はどんな支援を考えているか
 - ③裁判員に選任された市内事業所に勤務する人が、裁判の出席に際し、休暇を取得することによって不利益が生じぬよう、市内事業所の理解を深める必要があると思うがいかがか
- (3) 裁判員制度に関しては、支援のために複数の該当する課の連携が必要であり、相談の窓口も必要と考えるがいかがか

1 地方税法の改正について問う

- (1) 2008 年 4 月 30 日の税法改正を市はどう広報してきたか
- (2) 寄付の対象や災害時に義援金に使う手順を市民にわかりやすく説明できないか
- (3) 羽村市は、寄付受け入れの具体策を考えているか
- (4) 寄付の受け入れや手順を条例化する考えはないか。また、その時期は

2 社会教育の充実のために図書館は何をすべきか

- (1) アウトリーチサービスを充実させる考えはないか
- (2) 羽村市における図書館司書の数は何人で、東京 26 市中何番目に多いか。また、司書を増やし研修を充実させる考えはないか
- (3) 図書館の評価制度についてどう考えているか
- (4) 国会の決議では、図書館に指定管理者制度を導入することに否定的な見解であったが、羽村市は、図書館に指定管理者制度を導入することについてどう考えているか

3 定住自立圏構想について問う

- (1) 市長は、報告書を読んでどう考えているか
- (2) 羽村市は、生活機能強化のため、近隣市町村と協定を結ぶ必要があると考えているか。また、近隣市町村から、申し出があったらどう対応する考えか
- (3) 市長は、今の一部事務組合による意思決定の複雑さを解消すべきだと考えているか
- (4) 羽村市が、リーダーシップをとって、具体的な事例の中で近隣市町村と協議する考えはないか

9 月 9 日

6人目

12番

中 根 康 雄
(60分)

1 地震災害から市民を守るために

- (1) 市内幼・保・小中学校の安全対策について
 - ① 各施設に緊急地震速報自動放送システムを導入する考えは
 - ② 公私立を問わず、市内幼・保園の耐震化はどこまで進んだか
 - ③ 各施設の避難訓練ほどの程度行われているか
- (2) 耐震シェルターの助成について
 - ① 耐震シェルターの効用をどう認識しているか
 - ② 耐震シェルター助成制度を現耐震補強工事助成制度に組み入れられないか
- (3) 歩道ガードパイプの一部の応急担架転用型を更に増設する考えは
- (4) 住宅用火災警報器設置義務付けのその後の普及率はどうか
- (5) 市職員で防災士の有資格者は何人か

2 西口区画整理の諸問題について

- (1) 現在駅前広場となっている場所は公有地か私有地か
- (2) 駅前広場の雨水排水計画は如何に
- (3) 換地設計（案）を見直すとはどの辺までと考えているか
- (4) 意見書は何故速やかに提出者全員に回答しないのか
- (5) 羽村市に土地区画整理事業損失補償基準等はあるか
- (6) 換地設計（案）設計者は地形や現況利用状況を把握して設計したか
- (7) 3・4・12号線暫定迂回路として水道道路を使用するのは事実か
- (8) 公社との契約について
 - ① 換地設計（案）作成に関する支払いはどこまで履行されたのか
 - ② 見直し（案）作成代はどうか

9月10日

7人目

3番

西 川 美佐保
(60分)

1 子育て支援の更なる推進を

- (1) 医療費の無料化を、中学校3年生まで拡大してはどうか
- (2) 出産育児一時金を35万円から50万円に拡充してはどうか
- (3) 妊婦検診を全額無料化にしてはどうか
- (4) 妊婦への「出産前後におこる発達障がい未然に防ぐため」の情報提供について
- (5) 市には温水プールがあるが、妊婦のためのカリキュラムを作ってはどうか
- (6) 最近、子どもたちが外で遊ばなくなったことや、親子のふれあいが少なくなっていることが指摘されている。市民及び子育て家庭を応援するため、コストをかけず安く利用できる

9月10日

宿泊施設の拡大について

- ① (他県の) 他市観光協会と市が契約をするだけで、宿泊施設を 10%割引している所があるが、市民の利便性を考え、利用できる施設を拡大してはどうか
- ②羽村には自然休暇村があるが、25 市または区と連携し、他市で保養所が市にある所とは、両市民が両施設を使えるようにし、ホームページで、宣伝してもらえよう働きかけてはどうか

2 限りある資源活用で更なる「循環型社会」の推進を

- (1)市内の給食センター等から出る廃食油を、精製されたバイオディーゼル燃料(BDF)にして、市バス等に活用してはどうか
- (2)使用済み携帯電話の「レアメタル」を回収するため、市庁舎内に回収ボックスを設置してはどうか
- (3)不要の「入れ歯」を集めて資源化するため、回収ボックスを設置してはどうか
- (4)埋め立てるごみとして最後に残った「ガラス、陶器」の引取先を探して資源化し、「ごみゼロ社会」の実現を

3 市内小中学校の教育に「食育」と「環境学習」のシステム構築を

- (1)保護者への取り組みについて
 - ①学校で食育に取り組む時のお手伝いや、簡単に作れる朝ご飯作り等を研究し、食育を推進して頂く「食育ボランティア」を募ってはどうか
- (2)学校教育の「食育」を一連の流れで学べるプログラム作りについて
 - ①小学校から中学校までのプログラムを作り、食育を一連の流れの中で学べるよう、総合学習や羽村学の中に組み入れてはどうか
- (3)地域と連携したプロジェクトの立ち上げについて
 - ①小作台小には菜園があるが、一つのモデルケースとして学校に生ごみ処理機等を導入し、残菜を肥料化し、菜園や農家の方に使って頂き、そこで採れた野菜を学校の食育に利用するなど、食の循環を学べるよう市、学校(子どもたち)、農家の方等とどう循環システムを作るか考えるプロジェクトを立ち上げてはどうか

8 人目

10 番

瀧 島 愛 夫
(60 分)

1 平成 19 年度都教委学力テストの結果について

- (1)H19 年度の学力テストの結果について感想は
- (2)市立小中学校の児童・生徒の学力について満足か
- (3)指導者が児童・生徒の理解度をどの様に把握しているのか

9 月 10 日

9 人目	13 番	船 木 良 教 (50 分)	<p>(4)教育委員会として、児童・生徒の理解度を独自に把握する考えはあるか。また把握する方法はあるか</p> <p>(5)過去の学力テストの結果をふまえ、各学校が授業改善推進プランを作成し、独自に改善を図って来たと思うが、成果の出た学校と更なる改善が必要な学校があると理解しているが、教育委員会として、問題点についての改善策はどのようなものがあるか</p> <p>2 給食費の未納について</p> <p>(1)新年度の月別収納状況はいかがか</p> <p>(2)給食申し込み書の提出を求めたことが未納の解消の向け効果があったか</p> <p>(3)6月議会での質問に対して、法的措置を検討していく考えであるとの答弁を頂いたが、どのような状況になれば強制徴収に踏み切るのか</p>	9月10日
10 人目	14 番	露 木 諒 一 (50 分)	<p>1 地域資源を活かした観光政策について</p> <p>(1)今後の観光政策の方向性について、広域連携が最も成果を期待できると考えるがいかがか</p> <p>(2)従来の観光政策（協会方式）では都県を越えた経済的・社会的に、実効性のある戦略的計画作りは不可能と考える。西多摩を中心とした観光圏内の自治体で『広域連合のような政策立案・戦略的計画機能を有する合同の広域的組織を結成』して、関係機関や組織、事業者などを巻き込み、強力に取り組むことにより、地域の持続的発展と活力を生むものと考えがいかがか</p> <p>(3)国土交通省による「観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律」が制定されているが、どのように捉えておられるか</p> <p>(4)羽村市のおいしい水と健康野菜づくりを進める都市農業と連携し、観光農業として、『野菜類等の水耕栽培』は有望と考えるがいかがか</p> <p>(5)観光と文化の融合の観点から、羽村市の文化・歴史・芸術・自然環境等、羽村市のポテンシャル（潜在的能力・可能性）を最大限に活かすためにも『観光客を迎える拠点作り』が必要と考えるがいかがか</p> <p>(6)チューリップの花びらから、化粧水等に使用されている美容効果のある成分を製油できると伺っている。チューリップの化粧水や、アロマセラピー（芳香療法）などを『羽村市ブランド』として製品化が可能と考えるがいかがか</p> <p>1 長寿医療制度について</p> <p>(1)長寿医療制度を廃止し、従来の老人保健制度を導入すべきとの声があるが、市長の見解を</p>	9月10日

11 人目

15 番

門 間 淑 子
(60 分)

- 伺う
- (2) 6 月 12 日の保険料の改善策を適用した場合、昨年度の国民健康保険税と今回の新制度による保険料額について
 - (3) 保険料以外にも、健診事業、葬祭費支給事業、滞納者に対する資格証明書発行等の運用事務、保険料の年金からの天引き事務などについて

2 コミュニティバス「はむらん」について

- (1) コミュニティバス「はむらん」の利用状況について
- (2) 平成 18 年第 4 回の定例議会でのコミュニティバス「はむらん」について私が質問したその後の進捗状況について
 - ① 公立福生病院はこの 9 月第 1 期工事が完了する。公立福生病院への往復路線運行について
 - ② 羽村東コースの双葉町 3 丁目へのルート延長について
 - ③ 「1 日フリーパス、バス停へのベンチの設置」について
- (3) 羽村東コースは運行間隔も長く、利用者も多い、車輛増車について
- (4) コミュニティバス「はむらん」は積雪時の運行時、車体の構造上タイヤチェーンを装着できなかった。また、座席のクッションが硬かったとの声があるが、車輛を買い替える考えはないか
- (5) シルバーパス制度も高齢者の社会参加を促す目的で実施されている。コミュニティバス「はむらん」に「シルバーパス」が使用できるよう検討すべき

1 学校教育環境の充実について

- (1) 学校教育予算について
 - ① 地方教育費調査から羽村市の学校教育費が近年減少していることが窺える。その理由はなにか
 - ② 教育予算が少ないとの声を聞いている。各学校からの予算要求に対しどのように応えているか
 - ③ 学校図書は国基準を満たしているか
 - ④ 図書の新規購入・廃棄の基準は統一されているのか
- (2) 小中一貫教育について
 - ① パイロット校と連携校には条件に格差が生まれる。地域住民の理解がなければ実現は難しいと考えるが、住民への説明会の予定はいつか
 - ② 前議会で、実現には市独自の人材確保が重要と答えたが、人材が確保できなければ一貫教育構想を中止するのか

9 月 10 日

12 人目

16 番

市 川 英 子
(60 分)

- (3) 各学校に通級学級を設置してはどうか
- (4) 教員の多忙について「提出書類の簡素化」との声が上がっているが、改善できることはあるか

2 入札・契約制度の改革について

- (1) 入札・契約制度を改革するための検討委員会を設置してはどうか
- (2) 入札・契約を客観的立場で定期的に審査する第三者委員会を設置してはどうか

9 月 11 日

13 人目

1 番

鈴 木 拓 也
(60 分)

1 飼い主のいない猫対策について

- (1) 飼い主のいない猫に限らず、猫に関する苦情等が市に寄せられているか。あるとすればどのような内容のものか。市はその苦情等に対応してきたか
- (2) 「飼い主のいない猫対策」を市はどのように考えているか。今後の方向について伺う。
- (3) 市民との協働の視点からボランティアの力を借りて解決する考えはないか伺う

2 安全に通行するために道路の拡幅を

- (1) 羽村堰歩道橋から寺坂へ抜ける道路は、通学路にもなっている。また、新奥多摩街道へ抜ける道路として利用者も多い。しかし、道幅が狭く危険であり、過去にも何人かの議員から一般質問もされてきた経緯がある。その当時から数年経過するが、まだ何の計画も持っていない。具体化すべきではないか伺う
- (2) 東京都水道局羽村取水所前の奥多摩街道は、羽村市花と水のまつりやさくらまつり、また、普段でも市民の憩いの場としての利用がある道路である。しかし、歩道がなく大変危険との声以前から出されている。現在の状況を伺う

3 原油・物価高騰から子ども・高齢者・福祉施設・低所得者・業者等を守る具体的施策を急げ

- (1) 原油・物価の高騰で福祉施設、私立幼稚園、民間保育園の運営、また、低所得者世帯、市内業者への影響を市はどのようにとらえているか伺う
- (2) 物価高騰で影響を受けている福祉施設・民間保育園へ食材の補助をする考えはないか
- (3) 原油高騰で影響を受けている福祉施設・障害者への支援をする考えはないか
- (4) 6 月議会では「市内業者の影響調査も特別にしない。今後、業者からの相談には、他の相談窓口を紹介する」との答弁であった。6 月から 3 ヶ月経過した現在も同じ考えか伺う

9 月 11 日

1 小中一貫教育校構想について問う

- (1) 教職員へのアンケートにおける、小中一貫教育校についての以下の回答結果について問う

- ①「不登校が減ると思うか」との問いに対する回答結果（とてもそう思う 0%、少しそう思う 4%、あまり思わない 36%、まったく思わない 49%）についてどう考えるか
 - ②「学力が向上すると思うか」との問いに対する回答結果（とてもそう思う 0%、少しそう思う 11%、あまり思わない 47%、まったく思わない 32%）についてどう考えるか
 - ③「生活指導上の問題に迅速に対応できるか」との問いに対する回答結果（とてもそう思う 2%、少しそう思う 17%、あまり思わない 44%、まったく思わない 33%）についてどう考えるか
 - ④「学校（子どもの生活や教職員）の多忙化が進むと思うか」との問いに対する回答結果（とてもそう思う 70%、少しそう思う 17%、あまり思わない 5%、まったく思わない 2%）についてどう考えるか
- (2) 教職員へのアンケートにおける、「羽村市の教育の向上のために市に望みたいことは」への回答について
- ①「30人学級の実施」が最も多く 79%である。市は実施にむけて検討と努力をすべきではないか
 - ②「提出書類の簡素化」が次に多く 72%である。市は提出書類の簡素化・合理化に直ちにとりくむべきではないか
 - ③「2学期制の再検討」がその次に多く 70%である。市は2学期制の再検討をおこなうべきではないか
- (3) 羽村市全体の小中一貫教育の構築について、条件格差により、学校間に格差が生まれる可能性がある。それをどう解決しようと考えているのか
- (4) 今後の検討委員会、各部会のスケジュール、および、市民への説明会や意見を聞く会などの開催の予定はどうなっているか
- 2 学童クラブ、放課後子どもプランについて問う**
- (1) 学童クラブの施策充実について、検討の到達点と方向性について問う
- ①開所時間の延長についての父母の要望が大きい。実現すべきと考えるがどうか
 - ②障害をもつ子どもの受入れ学年を拡大してほしいとの強い要望がある。実施すべきと考えるがどうか
 - ③待機児が毎年生まれていること、入所定員の弾力的運用で大規模化している学童クラブがあることを解消するために、学童クラブの増設を願う声大きい。実現すべきと考えるがどうか
 - ④指導員の配置を手厚くすること、正規職員を配置すること、嘱託の雇用が原則5年間までとなっている現状をあらためること、これら

14 人目

5 番

山 崎 陽 一
(60 分)

をつうじて、より子どもや父母への対応を充実したものとするをを求める声がある。実現すべきと考えるがどうか

- (2) 夏休み中の待機児解消策はどのような結果となったか。また、夏休み後の待機児の現状はどうなっているか
- (3) 放課後子どもプランについて、検討はどこまで進んでいるか

3 米軍横田基地に関わる問題について問う

- (1) ヘリコプターの不時着、ペットボトル、アンテナの落下事故などについて、市はどう情報提供、再発防止への働きかけをおこなったか。それへの回答はどうだったか
- (2) 航空自衛隊航空総司令部の建設工事に伴い、基地内の残土 25 万立方メートルが青梅市・日の出町へ搬出されている。青梅市は多摩川の上流域にあたり、水源地などへの影響が懸念される。
 - ① これについてどのような連絡・説明をうけているか
 - ② 過去、大量の燃料漏れ事故についての報道がなされているが、どのような連絡を受けているのか、またどのような認識を持っているのか
 - ③ 基地内から排出される残土に燃料などの有害物質が含まれていないかどうかについて、どのような連絡を受けているのか。連絡がなければ、情報提供を求めるべきではないか。また、安全性が確認できないのであれば、徹底した調査をもとめるべきではないか

1 住民いじめの西口区画整理を問う

- (1) 事業見直しについて
 - ① 市長は区画整理の根幹は変えないが、権利者の意見を聞きながら見直すところ、進めるところはおぼろげながら頭にある、という。おぼろげながら見えてきたものは何か
 - ② 議決されたことをしないと不作為になる、と市長はたびたび答えている。区画整理が議決されたときから社会状況も変化し、議員も入れ替わった。議会が事業手法の見直しを議決すれば認めるのか。
 - ③ 市長は区画整理は止めないと言っているが、最近では稲城市百村地区で権利者の合意が得られず中止、地区計画によるまちづくりに変更した。中止のためにはどのような法的手続きが必要かを問う
- (2) 換地設計（案）について聞く
 - ① 換地設計（案）の個別説明会で区画整理課職員は意見書には個々に回答すると答え、市長も意見書には内容に応じて個別に対応する、と答弁している。権利者は返事を待っている

9 月 11 日

15 人目

18 番

中原 雅之
(60 分)

る。いつどんな方法で回答が来るのか

②市は「換地設計（案）の説明が出来ないと駅前一棟の仮換地指定が出来ない」と、換地設計（案）供覧をした。7月の区画整理審議会では「供覧は任意に行なったもので、地権者の意識調査である」と説明している。では供覧されたものは換地設計（案）ではなかったのか

③再度、区画整理専門員について問う。いかなる人物か、市での身分、職務の範囲、義務は何か

④意見書の精査は市職員か、多額の委託料を払う新都市建設公社の仕事ではないか

2 情報公開を怠る市政の改善を求める

(1) 情報提供について

①6月議会で質問したが、都からの「都市計画の縦覧と公聴会」という、市民にとって重要な情報が広報されず、市民の意見を言う機会が侵害された。この事実経過を問う。

②区画整理「土地権利者の会」の市補助金に関する領収書の開示請求に、市は「不存在」と回答した。議会で担当者は「領収書はある」と答えている。あるならなぜ開示努力をしないのか。情報公開条例の精神に反している

③「市政情報不開示決定取消請求訴訟」で市は被告になっている。情報提供に不備があったのか

3 温室効果ガスの削減のための対応を問う

(1) 温室効果ガス削減への市の対応を問う

①第4次長期総合計画で環境保全対策を掲げ、公共施設の削減量を平成23年度に2%、76kgに設定している。しかし公共事業や市民の排出量の方がはるかに多いと考える。市施行の公共工事で排出する温室効果ガスの排出量計算、削減対策はどのように取られているか。

②羽村駅西口駅前の1棟が3月に取り壊されたが、工事に伴う二酸化炭素の排出量はどのくらいであったか。

1 地球温暖化対策の推進を

(1) 「地球温暖化対策地域推進計画」の策定の見通しはどうか

(2) 千代田区では2020年までに、区内の二酸化炭素排出量を1990年比で25%削減する目標などを掲げた、「千代田区地球温暖化対策条例」を施行した。羽村市としても、地球温暖化対策条例の制定を考えるべきではないか

(3) 羽村駅西口土地区画整理事業における温室効果ガスの排出について算出すべきではないか

2 市職員の増員と臨時職員の待遇改善を

(1) 羽村市の職員は他自治体に比べて、人口比で

9月11日

16 人目

8 番

石 居 尚 郎
(60 分)

- 少ないと思われるかどうか
- (2) 市職員の時間外勤務の実態はどうか。近隣市と比較してどうか
 - (3) 羽村市は臨時職員の比率が高いと思われるかどうか
 - (4) 市職員を増やし、職員の過重負担をなくし、市民サービスが行き届くようにすべきでは
 - (5) 臨時職員（一般職、保育士、看護師、保健師など）の賃金を上げるべきではないか

1 原油高・物価高に対する緊急経済対策、地域活性化対策を

- (1) 3月議会で産業活性化推進室の今後の展望を質問した。その後、原油高、物価の高騰などさらに景気は悪化している。これらに対し、短期的、中長期的な検討と対策はどのように行われているか
- (2) 今年の第169回通常国会で、地域活性化に向けたまちづくり政策を推進するための法律が新たに拡充された。旧家の復元など歴史的な街並み整備を支援する「歴史まちづくり法」と、隣接する地方自治体同士の連携による観光地づくりを促す「観光圏整備法」である。羽村市の実情に合った活用を検討してはどうか
- (3) 農林漁業者が中小企業と連携して、相互の経営資源を活用し、新商品や新サービスを生み出すなど、工夫を凝らした取り組みを展開することで、経営改善、地域経済の活性化、雇用の拡大などにもつながるとして、「農商工等連携促進法」が本年7月に施行された。羽村市として農商工連携をどのように考えているか

2 介護サービス等、高齢者福祉の充実について

- (1) 国は、療養病床再編計画について、2012年度末までの実現をめざして進めている。制度改革に伴う患者の不安を払拭するきめ細かな対応が必要と考えるが、市はどのように対応するのか
- (2) 生まれ育った地域で老後の暮らしをと考える高齢者の方は多く、またより身近での支援センターを望んでいる。この要望に対する地域密着サービスの整備について今後どのように進展させていくのか
- (3) ボランティア支援についての実施状況と新たな対策は検討するか
- (4) 介護予防の取り組みについて、市の現状を聞く

9月11日